

# 4月3日の津波警報 対応で課題は



赤嶺 奈津江 議員

答 情報発信や避難行動の  
周知方法等が課題



**問** 4月3日の津波警報時の  
対応について、本町での課題  
は何か。

**副町長** 避難対象地域への周  
知や情報発信の方法がある。  
多くの町民が車両での避難に  
より交通渋滞が発生した。徒  
歩避難等適切な避難行動の周  
知を図る必要がある。

**問** 保育園や学校・教育現場  
での対応はどうだったか。

**副町長** 保育園では、河川沿  
いのみ避難指示発令を確認  
し、落ち着いた行動を取るよ  
うに連絡した。また学校等へ  
避難を行った施設もあった。

幼稚園では午前中に入園式  
が行われており、警報発令時  
には多くの保護者と園児が来  
園している状況であった。園  
では、町教育委員会と連絡を  
取り合いながら対応した。  
小中学校は、春休み中で児  
童生徒の対応はなく、体育館  
等で避難者を受け入れた。

仮称町民体育館  
今後の予定・計画は

**問** 当初計画から変更がある  
と思うが、今後の予定・計画  
はどうなっているか。

**副町長** 令和6、7年度にア  
ドバイザリー業務を行い、令  
和8年度から10年度にかけて  
設計、工事を行う予定である。  
規模については、アドバイザ  
リー業務で引き続き検討して  
いく。

**問** 広域的に考え、防災機能  
強化をすべきと思うが町とし  
ての見解を伺う。

**副町長** 広域的な防災機能を  
備えた施設整備については、  
調査、研究していく。

冠水対策、国・県と  
連携して早急に

**問** 大雨による道路の冠水等  
が多くなっている。県道82号  
線、241号線も冠水してい  
た。町道のみならず、県道、

国道での対策も急務と考える。  
一時貯水地をつくることも含  
め、再整備を要請できないか。  
**副町長** 各道路の状況に応じ  
て道路管理者へ対策を要請し  
ていく。



新川での冠水

**問** 治水対策は南風原町だけ  
ではできない。国・県と一緒  
にやっていく。それを共通認  
識として近隣市町との連携が  
必要だと思うがどうか。

**町長** 今後とも隣市町と、ま  
た、県と協議し対処してい  
きたい。